

【樹木の部屋】

セイヨウハナズオウ（マメ科ハナズオウ属 *Cercis siliquastrum*）

和名：セイヨウハナズオウ（西洋花蘇芳） **別名**：ユダの木 **英名**：Judas tree

マメ目 落葉小高木

原産地：南欧、西南アジア

花言葉：裏切り

花の色：桃



← 写真-1 セイヨウハナズオウ

撮影日：2018年04月20日

撮影場所：イオアニナ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん

↘ 写真-2 セイヨウハナズオウの葉

撮影日：2018年04月20日

撮影場所：イオアニナ

(ギリシャ)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 セイヨウハナズオウの花

撮影日：2018年04月20日

撮影場所：イオアニナ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん



ギリシャ北部の街、イオアニナの要塞内散策中、日本でもよく見かける花が・・・。
どうやらハナズオウのようですが・・・。念のため、ガイド嬢に質問。返事は
「ユダの木」。初耳でした。が、どう見てもハナズオウ。調べてみると、セイヨウ
ハナズオウ(マメ科ハナズオウ属)でした。

丁度、満開の時期のようで、市内街路樹として多く植栽されていました。濃い
ピンク色の桜並木のように、非常に綺麗。カメラに納めたかったのですが、
今夜の宿泊地、カランバカへのバスでの移動中だったもので・・・。

高さ 12 メートル、幅 10 メートルまでにも生長するそうです。1 年ごとに深い
桃色の花をつけ、春遅くに幹でも咲き、幹生花(植物の幹に直接開花及び結実
する形態のこと)の状態になります。春先に花が咲いてから葉が出、葉はハート
型ですが、角は鋭くなく、時々先端に浅い切れ込みが入ります。雌雄同株の虫
媒花であり、蜂によって受粉します。

西洋ではこの木をユダの木と呼んでいるそうです。イエス・キリストを銀貨
30 枚(当時の奴隷の値段)で売った裏切り者のイスカリオテのユダが、後に後悔
した際に首吊りに使った木であるということから由来しているそうですが、
聖書に樹木名の記述及び根拠はないそうです。

伝統的に、イスカリオテのユダが首吊りに使った樹木であると見過ごされて
きたようです。このような通念は、フランス語の通称「ユダヤの木(フランス
語: earbre de Judé)」からおそらく誤って派生したものだろう(「ユダヤの木」
とは、この植物が地中海方面に自生していることに関連した表現)との説がある
そうです。

<ちょっと一言>

ハナズオウ(マメ科ハナズオウ属 *Cercis chinensis*)

英名: Chinese redbud **原産地**: 中国

花言葉: 疑惑、裏切り、不信、高貴、豊かな生涯

*ハナズオウとセイヨウハナズオウの違いですが・・・。

・ハナズオウ: 高さは 2~3m、葉はハート形で艶があり、葉柄の両
端は少し膨らみます。早春に枝に花芽を多数つけ、3~4 月頃葉に先
立って開花し、花には花柄がなく、枝から直接に花が着きます。花
は紅色から赤紫(白花品種もあります)で長さ 1cm ほどの蝶形花で
す。花蘇芳の名は、花卉の色がスオウ(蘇芳)で染めた色に似てい
るため。

・セイヨウハナズオウ: 高さ 12 メートル、幅 10 メートルまでにも
生長します。1 年ごとに深い桃色の花をつけ、春遅くに幹でも咲き、
幹生花(植物の幹に直接開花及び結実する形態のこと)の状態にな
ります。春先に花が咲いてから葉が出、葉はハート型ですが、角は
鋭くなく、時々先端に浅い切れ込みが入ります。